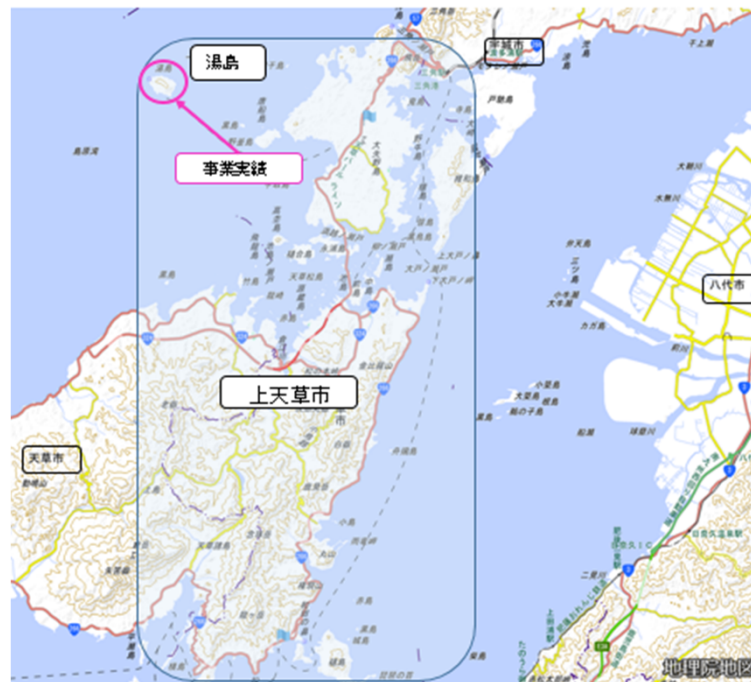


ファンドの概要

支援年度	2016年(平成28年)
事業主体	上天草市
助成対象地域	上天草市
目的	自然や歴史、文化、農林水産物を活かした地域づくりやコミュニティ活動など民間の自発的なまちづくりを支援することにより、地域の活力向上や多様な交流の促進を図る。また、地域の様々な課題解決の活動拠点を整備することにより、地域の活性化と生きがいを持って暮らす地域づくりを推進する。
助成の対象となる主な事業	地域資源を活用したまちづくりと交流促進に資する事業 交流人口の増大によるまちの活性化に資する事業 地域コミュニティの活性化に資する事業
ファンドの資金規模	20,000千円(上天草市10,000千円、機構10,000千円)

【助成対象地域】上天草市



出典：地理院タイル(標準図)に事業対象エリア等を追記して記載

【具体的な事業例】

- ① 空き家を活用した観光情報発信拠点となるカフェの整備



事業者：熊本大学田中研究室「湯島プロジェクト」  
事業地：上天草市湯島  
助成年度：平成30年度  
CF調達額：811千円  
ファンド支援：700千円

湯島には食事場所や観光施設が少なく、観光客に島の魅力を伝える力が足りていなかったため、空き家を使った“湯島の情報発信できる観光拠点となる「ねころびカフェ」を整備。

湯島は“猫の島”と呼ばれるほど猫が多く、猫目当ての観光客も増えていますが、島の経済活性化やリピーター獲得につながっていないことが課題でした。

そこで「湯島プロジェクト」による事業化を検討。当プロジェクトは、熊本大学の学生と島民、地域おこし協力隊、行政の方々で力を合わせ、湯島の魅力を発信し、島の経済活性化につなげる取組みを行っております。

当該施設の整備に際し、島民の方々と“島の活性化を考えるワークショップ”を開催し、当プロジェクトを立ち上げました。

<https://readyfor.jp/projects/yushimaproject/announcements/107116>